

# 湖畔の風

## ★4年ぶりの敬老会、開催される！

令和5年9月、4年ぶりに自治会ごとに温泉施設等で敬老会が開催されました。

参加できない敬老者には、自治会長よりお祝いを贈りました。

敬老者は下記のとおりです。

小倉自治会	敬老者	57名	百寿1名	米寿2名
中通自治会	敬老者	22名	米寿1名	
白土自治会	敬老者	53名	米寿3名	



小倉自治会  
9月10日東和温泉にて敬老会



中通自治会  
9月15日 銀河パークはなまき



百寿 小原千治さん〔小倉〕(写真は長男小原節夫さん)花巻市からの記念品が手渡されました。

### 《お詫び》

白土地区の敬老会の写真を入手することができませんでした。大変申し訳ございませんでした。謹んでお詫び申し上げます。白土地区の敬老会は9月10日に銀河パークはなまきで開催されました。



## ★ふれあい交流会

7月14日(金)社会福祉協議会主催の「ふれあい交流会」(以前はふれあい昼食会)が田瀬振興センターにおいて、開催されました。コロナウイルス感染拡大防止のため、しばらく休止していました。

田瀬地区の28名の方が参加され、簡単な体操や、日本舞踊で楽しいひと時を過ごしていただきました。

来年も開催され、みなさんが参加できるよう願っています。



## ★ 市政懇談会



8月4日(金)午後6時より、田瀬地区市政懇談会が開催されました。田瀬地区民16名、他地区2名が参加し、花巻市からは上市市長はじめ9人の職員が出席しました。

懇談の内容は田瀬地区の鳥獣保護区についてと田瀬開発についてのお話を中心でした。活発なお話合いができました。

詳しい内容については花巻市のホームページに掲載されます。そちらをご覧ください。

## ★ 川崎市ふれあいサマーキャンプ

8月2日(水)～4日(金)「川崎市ふれあいサマーキャンプ」の受け入れが花巻市東和町でおこなわれました。参加者は小学生14人、中学生6人、引率者6人の合計26人でした。

田瀬地区では田瀬ダム探検、白土伊藤輝義さんの畑で農業体験、東和B&G海洋センターではカヌー体験等、田瀬釣り公園オートキャンプ場でキャンプ・釣り体験をしました。

田瀬の夏をいっぱい楽しんでいったと思います。

農業体験の時に、伊藤さんが育てた「ぶちぶよ」ミニトマトを食べさせてもらい美味しくて大好評。買って帰りたいと引率の方から言われたほどでした。帰りの際、道の駅とうわまでトマトの差し入れをして、とても喜んでいただけたそうです。



カヌーや遊覧船体験



「ぶちぶよ うますぎ!!」



農業体験

じゃがいもの収穫を体験しました



## ★ 第34回田瀬湖湖水まつり

田瀬湖湖水まつりが田瀬ダム周辺において7月29日(土)、30日(日)に開催されました。29日に開催された花火大会については前回の湖畔の風に掲載しました。

30日は田瀬釣り公園において親子釣り体験が行われました。釣り体験は親子でなくても、ペアであれば無料とし、10組ぐらいの体験がありました。

また、東和B&G海洋センターでは恒例のEボート大会が行われ、7チームの参加があり、地元消防団を中心に田瀬地区から2チーム参加しました。



### Eボート大会結果

- 1位 マンゴーバナナ
- 2位 すりーめんず (中通白土)
- 3位 北陽会
- 4位 コミック消ちゃん (小倉)

興禅院、石段の左に「眞力院持法信士」と刻まれた石碑があります。昭和16年、田瀬ダム工事の着工に当たって、湖底となる興禅院境内より移転して現在地に建てられました。長い間に倒壊し、半分土中に埋まっていたのを、昭和59年に石段の改修に伴い、掘り起こしたものです。

石碑には天保3年9月3日という年号と砥森山善助という建て主の名前が刻まれていました。見るところ、これは墓石というより供養塔というべきものでしょう。そこで、この物語では「眞力院持法信士」なる人物を探索することから始めます。

興禅院の天保年間の過去帳をくまなく見ましたが、この戒名の記載は見当たりませんでした。それに院号で信士の戒名は曹洞宗ではつけられるものではありません。この石碑をよく見ると砥森山善助は門弟と書かれています。更に調べると戒名の左下に俗名四ヶ峯東吉とあります。そうなれば善助は師匠の四賀峰(よつがみね)東吉の供養のためにこの石碑を建てたのだらうと思われます。

田瀬の古老、数人から向田瀬出身の相撲取りがいたという伝承があることを聞きました。とすればこの供養塔の主は相撲取りかもしれない。そう考えていたある日、福島県の小沼氏なる人の来訪を受けました。小沼氏は、この石碑の存在を知り、はるばる福島から訪ねてきたのです。氏の話から、眞力院持法信士は四賀峰という二所ノ関部屋の関取であることが判明しました。その菩提寺は、東京の日蓮宗法泉寺であり、墓碑は日蓮宗の総本山である池上の本門寺にあるといひます。

四賀峰は、本名を小田島乙吉といい、寛政2年(1790)現在の北上市黒沢尻町町分に生まれました。長じて25歳の頃には、草相撲で和賀郡では右に出るものはいないといわれるほどになり、周囲のすすめもあって江戸にのぼり江戸相撲に加わりました。翌年の春場所には南部藩のお抱え力士となり、幕下になりました。実は、強いのは当たり前で、四賀峰は初代二所ノ関軍右衛門の甥で、身長182センチ、体重131キロもあったそうです。江戸相撲に入ってから二所ノ関の娘と結婚をし、大関まで昇進して引退していました。引退後は年寄りにはならず両国橋で手拭い屋を営んだということです。

さて、善助との関係です。善助も四賀峰と同じように草相撲で和賀郡を駆け回っていて、四賀峰の弟子となりました。師匠は南部藩のお抱え力士であることから、領内各地で巡業をして歩き、善助も「砥森山」のしこ名で、いわゆる四賀峰のふんどし担ぎで前相撲を取って歩いたのです。

それでは善助はどこに出だっただけでしょうか。ダム水没以前、向田瀬に「土場(阿部家)」という屋号の家がありました。(現在は下鱒沢に移転)その跡地は湖に沈んでしまいましたが、その家に昔、相撲取りがいて、その人が着ていた「どてら」の袖口は、大人が入って寝ることができるくらい大きい物だったそうです。その男が善助で、この時代は天候不順で凶作が続き、「土場」の家でも不作に苦しんでいましたが、田瀬の中では相撲の相手となるものが居ないことをいいことに、家の仕事をせず四賀峰のあとをついて歩いていました。《次回につづく》



戒名『眞力院持法信士』俗名『四ヶ峯東吉』と刻まれています。江戸大相撲に出世してから「四賀峰」としこ名を変えましたが、善助にはそれを知らされていなかったようです。

## 『田瀬のみのりまつり』開催について

今年も実りの秋となりました。「田瀬のみのりまつり」は10月15日(日)に開催できるよう準備を進めていますが、今年の夏は猛暑が続いたせいで、きのこの生育が遅れています。また、野菜や魚等の出品物も数量が確保できないものがあります。



きのこの発生具合によっては、中止となる場合がありますので、ご了承ください。開催できるかどうかは、後日みなさまにお知らせいたします。



## 菅沼緑さん 県立美術館でコレクション展



中通在住の彫刻家 菅沼緑さんの作品展が岩手県立美術館で「コレクション展第3期」として10月21日(土)～1月21日(日)に開催されます。

美術館のコレクションに加え、緑さん所蔵の最近作を見ることが出来ます。田瀬の皆さんも是非、ご覧くださいませようお知らせいたします。

### 関連イベント

- 学芸員講座「無責任な泉 菅沼緑」10月22日(日) 14:00-15:00  
ゲスト/菅沼緑氏〔彫刻家〕 聞き手/盛本直美〔美術館主任専門学芸員〕 定員100名、先着順  
詳しいお問合せは、岩手県立美術館 電話：019-658-1711 FAX：019-658-1712

### 10月の行事予定

- 田瀬のみのりまつり 10月15日(日)
- 田瀬湖さわやかウオーキング 10月29日(日)

### 11月の行事予定

- 和紙ランプシェード講座
- クラフト教室
- ゲートボール大会
- 市民と議会との懇談会



諸事情により、変更になることがあります。ご了承ください。

## 田瀬地区の人口

(令和5年8月末現在)

行政区	世帯数	人数			比較 (7月末)
		男	女	計	
田瀬第1	69	81	90	171	—
田瀬第2	29	33	34	67	—
田瀬第3	74	74	88	162	2人増
計	172	188	212	400	2人増

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで